

学校の沿革

明治	6年10月5日	栃木県教則に従い、上広沢・中広沢・下広沢・一本木・如来動の5ヶ村を連合し、中広沢「宝珠院」を仮校舎とし、「広教舎」を設立する。	
	8年10月	広教舎を下広沢村「東方寺」に移し、本校（東学校）とし、中広沢・上広沢に教場を設立し、分校となる。	
	13年7月	両分校を合併し、西学校とし「大雄院」を仮校舎とする。	
	18年11月	一本木村「東沢寺」の教場を合併し、「広沢尋常小学校」と改称する。	
	22年10月 35年4月	広沢村大字広沢1838番地に校舎を新築する。 高等科を併設し、「広沢尋常高等小学校」と改称する。	
昭和	11年11月3日	区の発展著しく、児童激増のため現在地に新築移転する。	
	12年4月	桐生市に合併「桐生市広沢尋常高等小学校」と改称する。	
	16年4月	「桐生市広沢国民学校」と改称する。	
	22年4月	「桐生市立広沢小学校」と改称する。	
	25年7月	校地を分けて、南側に広沢中学校を造る。	
	29年8月	境野間ノ島は、広沢1丁目、広沢間ノ島となる。学校プール施工	
	30年6月	山田郡毛里田村の一部、桐生市に編成し、広沢地区となる。	
	31年9月	広沢町1丁目「両毛整肢療護園」内「広沢小学校川久保分校」を新設。	
	32年4月	桜木小学校を開設、広沢1・2丁目の一部桜木小学校区に編成される。	
	35年4月	特殊学級を新設する。	
	35年6月	桐生市立第一養護学校の新設に伴い、川久保分校は廃校となる。	
	39年7月	校歌制定、発表会を行う。	
	48年8月	新校舎、体育館が完成する。	
	49年3月4日	校舎改築落成し、創立百周年式典を挙げる。	
	54年4月	桐生市立神明小学校開設、広沢町1～3丁目は神明小学校区となる。	
平成	56年11月	「むし歯予防推進指定校」公開研究会を行う。	
	56年、57年	群馬県健康優良学校として表彰	
	60年8月	体育館の床を硬質ゴムから木に改修	
	63年3月	下水管及び校庭改修工事。郷土資料室設置。広心庭竣工。	
	63年4月	市教委により63・平成元年度「国際理解教育実践推進校」の指定。	
	平成	元年11月	「国際理解教育実践推進校」の公開研究発表会
4年3月		築山岩石園整備	
5年4月		絵画が寄贈され学校美術館が設置	
7年2月		6年生奉仕活動により「水生公園」が整備	
8年10月		校庭遊具が整備	
10年11月		放課後児童会室（なかよしクラブ）設置	
10年8月		コンピュータ室設置	
10年10月		「群馬県造形美術教育研究会」会場校、発表会を行う。	
15年4月		第21期社会福祉協力校（～平成17年度）	
17年11月		桐生ライオンズクラブより防犯カメラの寄贈	
18年4月		県教委指定により平成18・19年度「健康教育総合推進事業」実践研究	
20年7月		耐震改修及び大規模改修工事開始（工事完了21年3月）	
20年11月		群馬県教育委員会より健康推進学校の優秀校として表彰される。	
令和	21年7月	携帯メールネットワークの構築及び運用開始	
	27年4月	放課後児童クラブ室改修工事開始	
	28年11月	桐生夢ソーラプロジェクト（太陽光発電設備）設置工事完了	
	29年6月	こども宇宙プロジェクトの児童の写真が国際宇宙ステーションにドッキング	
	29年10月	「全国広沢小姉妹校」宣言。和光市・浜松市・京都市と交流開始。	
	令和	元年12月	群馬県健康推進学校表彰優良賞受賞
		2年3月	外トイレ部改修
2年3月4日		新型コロナウイルスの感染症予防のため臨時休業（～26日）	
2年4月13日		新型コロナウイルスの感染症予防のため臨時休業（～5月31日）	
2年9月7日		広沢放課後子供教室「わたらせちゃうすルーム」開講	
2年8月		体育館LED照明設置完了	
3年4月		タブレットPC本格運用開始	
3年7月		タブレットPC保管庫搬入	
3年1月25日		新型コロナウイルスの感染症予防のため臨時休業（～28）	
5年6月15日		航空写真撮影	
5年8月21日		「希望の鐘」設置工事開始	
5年10月3日		百五十周年記念式典 一、二校時	
5年11月1日		群馬県小学校理科研究大会桐生大会	
5年11日11日	第一理科室エアコン工事開始		